

# 「新たな旅のスタイル」促進事業

- 従来の日本の観光スタイルは、特定の時期に一斉に休暇取得する、宿泊日数が短いといった特徴があり、観光消費額の伸び悩みが課題。
- 新型コロナウイルス感染症による社会変化を踏まえ、休暇取得の分散化を進めるため、滞在型の「新たな旅のスタイル」を普及・促進することが必要。

## 「新たな旅のスタイル」の普及に向けた取組

- \*ワーケーション…テレワークを活用し、リゾート地・温泉地等で余暇を楽しみつつ仕事を行う。
- \*ブレジャー…出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして余暇も楽しむ。
- \*サテライトオフィス…企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィス。



04

### 地域（受け手）

- ワーケーション、ブレジャー、サテライトオフィス  
需要に対応した環境整備
- 滞在型旅行実現のためのコンテンツ整備

●企業(送り手)と地域(受け手)を対象としたモデル事業

### 民間企業（送り手）

- 旅行者、企業経営者等に対する普及啓発

### 旅行会社

- 「新たな旅のスタイル」に合わせた旅行商品の造成支援

- 「新たな旅のスタイル」に関する  
検討委員会

感染リスクを軽減しつつ、より多くの旅行機会の創出・旅行需要の平準化を図り、地域経済を活性化